

総 務 委 員 会 会 議 録

- 1 期 日 平成30年2月26日(月)
- 2 会 場 第3委員会室
- 3 開会時刻 午前10時03分
〈休憩 11:01 ～ 11:08 〉
- 4 閉会時刻 午後 0時03分
- 5 出席者 委員長 二村 禮一 副委員長 寺田 幸弘
委員 鈴木 正治 委員 草賀 章吉
委員 山本 行男 委員 鈴木 久裕
委員 富田 まゆみ

当局側出席者 市長、総務部長、総務部付参与、企画政策部長、
市民協働部長、危機管理部長、消防長、水道部長、
南部行政事務局長、会計管理者、議会事務局長、
所管課長

事務局出席者 議事調査係 鈴木

6 審査事項

- ・議案第32号 平成29年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について
 - 第1条 歳入歳出予算の補正
 - 歳入中 所管部分
 - 歳出中 第1款 議会費
 - 第2款 総務費
 - 第7款 商工費(第1項3目)
 - 第9款 消防費
 - 第10款 教育費(第5項2目のうち所管部分、第6項1目・2目)
 - 第12款 公債費
 - 第2条 繰越明許費
 - 第3条 地方債の補正
- ・議案第36号 平成29年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算(第2号)について

7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成30年 2月26日

市議会議長 鈴木 正 治 様

総務委員会 委員長 二 村 禮 一

7 会議の概要

平成30年2月26日（月）午前10時03分から、第3委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 当局（市長）あいさつ

3) 付託案件審査

[10:06 ～11:55]

①議案第32号 平成29年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第1款 議会費

第2款 総務費

第7款 商工費（第1項3目）

第9款 消防費

第10款 教育費（第5項2目のうち所管部分、第6項1目・2目）

第12款 公債費

第2条 繰越明許費

第3条 地方債の補正

第2款 総務費

第12款 公債費

第2条 繰越明許費

第3条 地方債の補正

[財政課、説明 10:08 ～ 10:15]

[質 疑 10:15 ～ 10:18]

○鈴木正治委員

事項別明細書16頁の株式等譲渡所得割交付金について、当初予算と比較して増額となったのは景気回復の影響か、要因は何か。

●高柳総務部付参与

当初予算及び補正予算については、いずれも県の交付実績の見込み、県で予算が付くので、その予算の状況を踏まえて計上している。県の予算が大幅に伸びているという事もある。要因としては、株価が上がっていることもある。売買高の株数は伸びていないが、全体的に上がっていると思う。

●鈴木久裕委員

繰越明許費の大東苑の補正について、予定外の工事は補助の対象外ということで良いか。

●高柳総務部付参与

今回の事業は、多床室を個室に変える工事で、配管がある予定だったが、配管が無かったため新規で必要になった、補助対象となる場所の予定外の工事である。

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

第1款 議会費

〔議会事務局、説明 10:19 ～ 10:21 〕

〔質 疑 なし 〕

○二村禮一委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔行政課、説明 10:21 ～ 10:25 〕

〔質 疑 なし 〕

○二村禮一委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔管財課、説明 10:25 ～ 10:29 〕

〔質 疑 10:29 ～ 10:36 〕

○富田まゆみ委員

事項別明細書71頁の土地貸付収入について、希望の丘のラスールの所の貸付金が無料となった経緯を教えて欲しい。

●村上管財課長

特別養護老人ホームラスール掛川は、平成27年4月1日に開設され、開設時から施設用地を賃料月額29万2,600円で貸し付けしていたが、市有地にある市内6施設は無料で貸し付けており、市の施策である、介護保険・高齢者保健福祉計画に基づき整備された施設なので、市としても協力したいため、健康長寿課と協議した結果本年度から無料とした。

○山本行男委員

事項別明細書105頁の地籍調査事業費について新地籍調査事業30年プランは計画通りなのか。

●村上管財課長

進捗状況は計画より若干進んでいる。

●松井市長

地籍調査は、浜松や静岡の都市部は実施してこなかった。その必要性が高まり、財源の確保を国にいろいろお願いしている。掛川市はそれなりに財源も確保してもらっているので、30年プランも順調に進んでいる。静岡や浜松の大きいところが実施し始めると、財源の確保が難しくなる。市長会では財源の確保を国に強く要請している。これは、災害時や相続の問題も含めて、しっかりやらないと行政運営にマイナスとなる。

●村上管財課長

本年度までに4.69平方キロメートルの計画に対して5.8平方キロメートルの実績、23%程度予定より進んでいる。

○鈴木久裕委員

事項別明細書71頁の土地貸付収入について、希望の丘は無料化しているが、希望の丘と市全体の均衡についてはどうなっているのか。

●村上管財課長

市内の特養は全て無料化している。

○二村禮一委員長
以上で質疑を終了する。

歳入のみ
〔市税課、説明 10:37 ～ 10:39 〕

〔質 疑 10:39 ～ 10:46 〕

○草賀章吉委員
法人税とたばこ税の昨年度の実績は。

●松浦市税課長兼資産税課長
法人市民税は16億4,760万円、たばこ税は7億6,582万5千円である。

○鈴木久裕委員
事項別明細書6頁のたばこ税は紙巻きと加熱式があり、喫煙者の減少の影響との説明があったが、加熱式たばこへの移行による税収の影響はあるのか。

●松浦市税課長兼資産税課長
税の申告がJ T等からあるが、紙巻きたばこと加熱式たばこの内訳は出ていない。税の情報誌だと税収減の影響は、加熱式たばこへの移行が3分の2、健康志向によるたばこ離れが3分の1程度である。また、税率の違いもあり、市税分として紙巻きは千本当たり5,262円、加熱式は銘柄によって違いはあるが、千本当たり約730円から4,420円である。

○富田まゆみ委員
事項別明細書4頁の軽自動車税について、354台減少したが、増額になったというのは、一定の年数を経過すると税率が上がるため、そのような車の割合が増えているのか、それとも買い換えが多いのか。

●松浦市税課長兼資産税課長
13年経過すると、例えば軽四輪乗用自家用で、7,200円が12,900円になるため、買い換えが進んでいる。28年度課税では、4,864台の該当が29年度課税では4,054台で810台減少している。その分買い換えが進んでいる。

○二村禮一委員長
以上で質疑を終了する。

第2款 総務費
〔資産税課、説明 10:47 ～ 10:47 〕

〔質 疑 なし 〕

○二村禮一委員長
質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費
〔納税課、説明 10:48 ～ 10:49 〕

〔質 疑 無し 〕

○二村禮一委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔企画政策課、説明 10:50 ～ 10:51 〕

〔質 疑 10:51 ～ 10:53 〕

○鈴木久裕委員

事項別明細書100頁の市民意識調査業務委託料について、減額した要因は。

●平松企画政策課長

予定価格に対して入札の額が低かったため。

○鈴木久裕委員

内容は特に変更してないのか。

●平松企画政策課長

変更していない。

○鈴木久裕委員

事項別明細書100頁の平和学習資料等印刷費について、今年度減額して、来年度新たに計上するのか。

●平松企画政策課長

今年度実施した作業は今年度精算して、来年度は編集作業や印刷を計上していく。

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔シティプロモーション課、説明 10:53 ～ 10:55 〕

〔質 疑 10:55 ～ 11:01 〕

○草賀章吉委員

事項別明細書110頁のシティプロモーション推進事業費の交流・居住体験事業費補助金の皆減はどのような事業を考えていたのか。

●岡田シティプロモーション課長

28年度に北海道豊頃町と掛川市との交流事業を展開しており、都市間交流を通じて地域産品を互産互消や観光交流の事業に繋げるという事業であり、今年度についても事業継続ができ、北海道からの参加者が増えているということで、見送ったもので、事業については掛川から北海道へ夏に、冬の12月から2月にかけて、北海道から掛川に見えていただき、1週間程度6, 7人の人がそれぞれ交流や地場産品の販売を行った。それぞれの拠点でそれぞれの有効性や特徴等を体験したという事業である。

○草賀章吉委員

田舎同士では、交流はいいが、移住というのは田舎から田舎に移ることになる。シティプロモーションのあり方として良いのか。互産互消は分かるが、田舎同士の移住を進めるのは無理があるかどうか。

●岡田シティプロモーション課長

これについては28年度に実施したが、シティプロモーション課ができ、今度は都市間との情

報発信をしていくために、東京のふるさと回帰センターとパイプを作ることを重視してきた。センターの職員からも掛川の暮らしぶり、産業、まちのイメージが分かるような媒体が必要という事で、「掛川の移住・定住サイト」を作っている。東京からの相談者も増えており、12月末時点で52件で前年は36件で増えている。その人達へのおもてなしや実際に体験してもらう機会を、空き家対策や色んな関係機関と一緒に広げていきたいと思っている。28年度に実施した内容については、特産品の購入、ふるさと納税など色々な機会をきっかけに掛川に足を運んでいただく。段階的に関係人口を広げていくような事業が見えてきたので、シティプロモーション課としては、まずは掛川市を知ってもらうところから、今年度は実施している。

○草賀章吉委員

互産互消を進めている団体も分かっている。交流もわかる。移住まで広げたのはどうかと思った。

●岡田シティプロモーション課長

大使も委嘱して、市外から掛川に掛川の良さを発信している大使もいる。さまざまな方面から情報発信できるように整理している段階である。今の内容については、精査をして来年度に向けて課題も整理して情報発信の仕組みを考えていきたい。

○鈴木久裕委員

当初補助する予定だった団体名を教えて欲しい。

●岡田シティプロモーション課長

ローカルライフスタイル研究会である。

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

[休憩 11:01 ～ 11:08]

第2款 総務費

[I T政策課、説明 11:08 ～ 11:11]

[質 疑 11:11 ～ 11:12]

○鈴木久裕委員

事項別明細書106頁のネットワーク管理費のL G W A Nシステム使用料は県のセキュリティアラウドサービスのおかげで外部とのメールの送受信におけるファイルの種類が限られている。改善の見込みはあるのか。

●戸塚 I T政策課長

テキスト、PDF、J P E G、マイクロソフト系は可能となっていたが、掛川で使っている一太郎ファイルについても、要望を出し、やっと使えるようになった。前回も要望もあり、県に要望をして使えるようになった。

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

[市民課、説明 11:13 ～ 11:16]

〔質 疑 11:16 ～ 11:21 〕

○鈴木久裕委員

事項別明細書112頁の住民基本台帳事務費の通知カード・個人番号カード関連事務について、当初発行見込みと補正による最終見込みは。

●澤崎市民課長

この個人番号カードの交付金は、発行見込み数を当市で想定し交付額が決定しているものではなく、国は平成29年度に全国で500万枚の個人番号カードを交付することを想定し、交付金額を見込んでいた。それを基に各市町の人口割りにより交付金額を決定している。しかし、現在全国で250万枚から300万枚の交付見込みとなり、国の想定する交付枚数の半分程度であった。この個人番号カードの交付金は、27年度から交付されているが、交付枚数が国の想定より毎年少ないため、交付決定額の一部を繰越明許としている。平成29年度も現年度分を減額補正をした。当市は28年から1万枚交付し、29年度は千枚を交付している。

●松井市長

マイナンバーについては総務省の方から保持率が極めて悪いので、市長会の方でも、もう少し色んな用途に活用できるように幅を広げてくれない限り、今の状況では無理があると訴えている。しかし、総務省からも可能な限り努力するようにという意味で、国の予算額が潤沢にあって、県、市町村に配分するので、配分された額を達成するように努力はしなければいけないと思っているが、税金を払う人は良いが、一般の人が所持するメリットがないので、市議会も意見書等を提出していただけるとありがたい。

○山本行男委員

事項別明細書112頁の住民基本台帳事務費のコンビニ交付運営負担金に関連して、全部のコンビニで可能となったのか。

●澤崎市民課長

市内の全てのコンビニは可能である。

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

第10款 教育費

〔文化振興課、説明 11:22 ～ 11:26 〕

〔質 疑 11:26 ～ 11:30 〕

○富田まゆみ委員

事項別明細書86頁の文化ホール運営費返還金の詳細について。

●富田文化振興課長

28年度から29年度への繰越金が1,537万6,556円あった。その内1,054万7,556円については、平成29年度に計画していた事業の財源とした。今回の減額については、もともと公社が後年度の事業のために積み立てをしていた積立金を取り崩して実施する事が出来たため、今回の金額については、協定書に基づき、市が必要と認める時には返還を求める事が出来るという規定があり、公社からの申し出に基づき返還してもらう事になった。

○鈴木正治委員

二の丸美術館で開催された黄金の茶室について、費用と入館者について。

●富田文化振興課長

来場者は期間中に7,458人、前年度の年間来場者数が約2万1,000人であり、一つの展覧会で年

間の3分の1の人数があった。展覧会の事業費はMOA美術館の御協力により、運搬費や設営費やごく僅かな使用料など、約290万円で実施できた。

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔生涯学習協働推進課、説明 11:30 ～ 11:35 〕

〔質 疑 11:35 ～ 11:39 〕

○鈴木久裕委員

101頁の市民活動推進事業補助金について、当初400万円から3分の1程度の削減となったが、要因について。

●都築生涯学習協働推進課長

この数年の傾向として、毎年の応募件数は増加傾向にあるが、金額は減少の傾向にある。自分で財源を用意しながら、この市民活動も利用する傾向があった。本年度も同じような傾向があり減額した。1つは、補助金に全て頼るというよりも、自立した活動が行われている。もう一方は、制度が開始されて10年が経ち、協働のまちづくりも進化して、自立した活動が定着してきたことも見受けられると判断している。

○鈴木久裕委員

団体が固定化や特定化している傾向はあるのか。

●都築生涯学習協働推進課長

この補助金は同じ団体が受けられるのが3カ年であり、同じ団体が補助金を受けるには、別の事業内容ではないと受けられないので、同じ団体が常にこの補助金を活用していることはない。

○二村禮一委員

109頁の天竜浜名湖鉄道経営助成基金負担金の減額について、天浜線の経営が安定して収入が増えたからなのか。

●都築生涯学習協働推進課長

今年度は鉄道のいろいろな施設の老朽化を調査する事業を予定していた。それは、経営助成の基金ではなく、新たに市町に負担をお願いする予定だった。しかし、事業の決算見込みに合わせて、基金を充当する額が減ってきたので、新たに市町に負担することではなく、基金によって事業が可能となった。経営が改善したと言うよりは、基金の充当が可能となったため、市町に負担を求めなくなったということである。

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

第7款 商工費

〔観光交流課、説明 10:40 ～ 11:42 〕

〔質 疑 なし 〕

○二村禮一委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第10款 教育費

〔スポーツ振興課、説明 11:43 ～ 11:45 〕

〔質 疑 11:45 ～ 11:46 〕

○鈴木久裕委員

事項別明細書204頁のスポーツ施設管理運営費の天井等改修工事实施設計委託料について、工事を来年度に繰り延べしたのは、今年度の工事との関連なのか。理由は。

●山梨スポーツ振興課長

さんりーなの天井改修工事は来年度実施する。空調設備については天井内を工事することがなく、床を作業することになるため同時に工事が出来ない。来年度は天井の改修工事を行う。空調設備は、空調設備を使ったときに掛かる利用料を、市と指定管理者と利用者がどのように負担するのかをコンセンサスを得て進めていきたいという事情があり、30年度にコンセンサスを得た上で、どこまで整備するか進めていきたい。

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

第9款 消防費

〔危機管理、説明 11:47 ～ 11:50 〕

〔質 疑 なし 〕

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

第9款 消防費

〔消防総務課、説明 11:51 ～ 11:54 〕

〔質 疑 無し 〕

○二村禮一委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

〔討 論〕なし

〔採 決〕

議案第32号 平成29年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について
全会一致にて原案とおり可決

〔11:56 ～ 12:03 〕

②議案第36号 平成29年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第2号）について

〔管財課、説明 11:56 ～ 12:00 〕

〔質 疑 12:00 ～ 12:06 〕

○鈴木久裕委員

掛川地内用地の駐車場について、面積は変わらず契約台数の変更により減額となるのか。

●村上管財課長

当初契約していたのは22区画あったが、15区画に減少したためである。

○鈴木久裕委員

面積は同じなのか。

●村上管財課長

同じである

○二村禮一委員長

公園服部の跡地の利用について。

●村上管財課長

具体的な計画の策定はない。1月23日に認定を受けた歴史的風致維持向上計画の重点区域に含まれているので、担当セクションと三の丸広場と一体となった活用の議論を進めていきたい。

○二村禮一委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕なし

〔採 決〕

議案第36号 平成29年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第2号）について
全会一致にて原案とおり可決

.....

○二村禮一委員長

以上で委員会を終了する。

4) 閉会 12:08